西条市総合福祉センター使用許可(兼使用料減免)申請書

亚久士	菱	向作	喬 敏明	J	殿	Ħ	1 5	Ħ	<u> </u>		令和		年		月		日	
			ター設置			申	所	在	地									
例第5条						甲	団	体	名									
用につい					_	請			• •									
(注)太	線の	枠内	のみ記り	して	ください。	+ z	代	表	者									
口は必	要な	箇所(こ V を入	れてく	(ださい。	者	連	絡	先	(担)	当者:	2	5 3	_	_	_)
使用日	日時	F .	令和	年	月		日	(曜日)	B	寺	分	~		時		分
使用与	易砂	. 🗆	集会室		□ 視聴	党3	室			会請	養室(1)				会訓	義室((2)	
区 加 4	<i>9</i> 3 17		研修室(1)	□研修	室(2)			福祉	上団体流	動室					本活	動室
使用ノ	人員	Į		名	冷暖房 の使用	:		有無	持迫	入機 材	オの有無	# -	有無	※有0	湯料 得 の場合 添付の	収支		有無
			マイク()本	<u> </u>	スタン	<u> </u>)本		ОНЕ) [OH				-	······ 快写	
使用設備	•備品	'	ビデオプロシ	ブェクター	-(PC • VH	s · D	VD)		調整.	卓(VH	S • DVD	• CD)		カラオケ	ワゴン		スクリ	ノーン
行事等の	名称									時	B		分	~		時		分
(案内板	用)									間	(※案/	内板に割	長示す	⁻ る時	間をは	き書お	きくだ	さい)
行事等の	小山水	,																
1J##V	八八七																	
使用料	免贸		西条市福	温祉セ	ンター設置	退及 び	管理	条例	施行	規則領	第9条第	1項第1	号該	当 <u>(西</u>	条市	主催	・共作	<u>崔)</u>
減免	申請	;	次の理由	により	り西条市	総合	福祉	セン	ターイ	使用米	料の免除	余(減額	()を	申請し	ょす	- 0		
					身体障害	者手	帳、狙	原育-	手帳	、保健	建福祉司	₣帳を戸	沂持	する者	るなで	バそ (の付き	添
			いの者が		-			_	. Le 2011			- L-3						
減免申	ョ請	片																
			□ 国又は地方公共団体が社会福祉の増進等の事業を行うために使用する。 □ 市内の社会福祉団体が社会福祉の増進等の事業を行うために使用する。												_ z			
の理	由		-			-				-								
の理	由		市内の	社会社		が社	会福	祉の	増進	等の	事業を	行うた	めに	使用	する。			
の理	由		市内の	社会补 公共的	富祉団体	が社	会福	祉の	増進	等の	事業を	行うた	めに	使用	する。)
の 理 食事の			市内の行	社会补 公共的	富祉団体	が社 社会	会福	祉の の増	増進 進等	等の事	事業を	行うた うため	めに	使用 ⁻ 用す	する。		です)
			市内の 市内の その他(社会补 公共的	冨祉団体が 内団体が	が社 社会	会福	祉の の増	増進 進等	等の事	事業を	行うた うため	めに	使用 ⁻ 用す	する。 る。 場合	のみ	です料)
	許可		市内の 市内の その他(社会社公共的	副祉団体が 内団体が □ 不必	が社 社会	会福福祉	祉の の増	増進 進等	等の事	事業を	行うた うため	めに	使用・ 用す [。] 用の ⁵	する。 る。 場合	のみ) ·。
食事の	許可		市内の行うの他の	社会社公共的	副祉団体が 内団体が □ 不必 1,1	が社 社会 少要 00	会福福祉分	祉の の増 	増進 進等	等の事	事業を行	行うた うため	めに	使用・ 用す [。] 用の ⁵	する。 る。 場合	のみ		
食事の 集	許可聽	会党	市内の行うの他の	社会社公共的	副祉団体が 内団体が □ 不必 1,1	が社 社会 少要 00	会福祉	祉の の増 ※ ×	増進 進等	等の事	事業を発すする。	行うた うため	めに	使用・ 用す [。] 用の ⁵	する。 る。 場合	のみ		円
食事の 集 視	許 豆 聴	会覚	市内の行ったの他の必要を室室	社会社公共的	副祉団体が 内団体が □ 不必 1,1 4	が社 社会 の 100 100	会福祉 分 円	祉のの増 × ×	増進 進等	等の事	事業を行いています。	行うた うため	めに	使用・ 用す [。] 用の ⁵	する。 る。 場合	のみ		円円
食事の 集 視 会 諄	許 可 聽	会党	市内の行 市内の他 必要 室 室 1) 2)	社会社公共的	副祉団体が 内団体が □ 不必 1,1 4 3	が社 社会 多要 00 100 300	会福 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	祉の の増 × ×	増進 進等	等の事	事業を行いの時間時間時間	行うた うため	めに	使用・ 用す [。] 用の ⁵	する。 る。 場合	のみ		円 円
食事の 集 視 会 課	許 聴 写 写 写	会党	市内の行 市内の他 必要 室 室 1) 2) 1)	社会社公共的	副祉団体が内団体が内団体が内団体が内団体が内団体が内団体が内容1,1436	が社 社会 少要 00 100 300	会福 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	祉のの増 × × × ×	増進 進等	等の事	事業を行い時時時時間間間間間	行うた うため	めに	使用・ 用す [。] 用の ⁵	する。 る。 場合	のみ		円 円 円
食事の 集 視 会 会 研	許 聴	会覚(((市内ので 市内ので その他(必要 室 2) 1)	社会社公共的	副祉団体が内団体が内団体が内団体が内団体が内団体が内団体が内容1,1436	が社 社会 多 00 800 800	会福 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	祉の増 × × × × × × × × × × × ×	増進 進等	事の評	事業	行うため 京則終	めに	使用・ 用す [。] 用の ⁵	する。 る。 場合	のみ		円 円 円 円
食事の 集 視 会 会 研 研 算 セン	許聴望望望	会覚((((営で	市内ので 市内の他 必要 室 室 1) 2) 1) 2 利	社会社公人	副祉団体が内団体が内団体が内団体が内団体が内団体が内団体が内容1,1436	が社会 次要 100 100 100 100 100 100 100 10	会福 一 一 日 日 日 日 日 日 日 日	祉の増 × × × × ×	増進 (食) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	事の評	事業では、問問問間間間	行うた。 うため	めに	使用・ 用す [。] 用の ⁵	する。 る。 場合	のみ		円 円 円 円
食事の 集 視 会 会 研 研 算 加 第	許聴養養を科々の	会覚((((営で	市内ので 市内の他 必要 室 室 1) 2) 1) 2 利	社会社公人	副祉団体が 内団体が □ 不必 1,1 4 3 6 1,1	が社会 次要 100 100 100 100 100 100 100 10	会福 一 一 日 日 日 日 日 日 日 日	祉の増 × × × × ×	増進 (食) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	事の計	事業では、問問問問間間に	行うため 原則終 房 料	めに	使用 の 使	する。 る。 場合	のみ		円円円円円円
食 集 視 会 会 研 研 編(1(2)3)	許 聴	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	市市そ必 室室室 1 2 利 次 類 は れに類す	社会共善のとは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので	副祉団体が □	が社会 <u>9</u> 00 800 00 で禁	会福 月 円 円 円 円 一 正 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	祉の	増進 (食) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	等の 事の う が 使 し し し し し し し し し し し し し し し し し し	事業 可 時時時時時令 品 用業を は 間間間間間間陽 使の	行うた	めに 日 1 1 1 1 1 1 1 1	使用 の 使	する。 る。 場合	のみ	**	円 円 円 円 円 円
食 集 視 会 会 研 研 算 七物寄宣広 は 1 (2(3(4)) は 1 (4(3)) は 1 (許 聴 箋 箋 § § 料 夕ののそ物		市市 そ 必 室 室 1 2 利 次 類布 は、 に配 和 次 類 な で す 又	社会共善といっているは、おのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	副祉団体が ☆	が社会 <u>9</u> 00 800 00 で禁	会福 月 円 円 円 円 一 正 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	祉の × _ × _ × _ × _ す ず す ず す ず す ず す	増進 (食 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	等の事の計画を対しています。	事業 丁善時時時時時令 品用な業を は 間間間間間間間暖使の	行うた 則 房 別 計	めに 日 (Δ	使用 用 の 使	する。 	のみ	料 0	円 円 円 円 円 円 円
ま根会研相(1(2(3(4))))計ま税税税税(1(2(3(4))))計よの額税(1(2(3(4))))計よの額税(1(2(3(4))))計よのの(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))よのの(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))よのの(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))よの(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))よの(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))よの(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))よの(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))よ(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))よ(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))(1(2(3(4))))よ(1(2(3(4))))	許・聴くりをは、そののそ物原は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	□□□□□ 一会 覚 で で で で で で で で で	市市そ必 室 室 1 2 利 次 類布 る i・ 帰 の す又 こ	社公 <u>区</u> 的 と るは と る	副社団体が □ 1,1 4 3 6 1,1 は	が社会 9 100 100 100 100 100 100 100	会福 分 円 円 円 円 円 で 設置	祉の × _ × _ × _ × _ す セ	増進 (食) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	等の事がが、「「「使して	事業 丁善時時時時時令 品用な業を は 間間間間間間間暖使の	行うた	めに 日 (Δ	使用 の 使	する。 	のみ	**	円 円 円 円 円 円 円
ま視会研個(2)(3)(4)ま視会研質せ物寄宣広1よ2ののははよのははののよのはのののよのののののよのののののよのののののよのののののよのののののよのののののよのののののよのののののよののののののよのののののののよのの	許に関している。 第一年 は、日本のの子物原 火 は 第一年 は 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	市市そ必 室 室 1 2 利 次 類布 る i・ 帰 の す又 こ	社公 区 のと なはと 内会共 区 のは と 有看。 で	晶内 口体が 1,1 4 3 6 1,1 4 3 6 1,1 4 3 6 1,1 4 3 6 1,1 4 3 6 1,1 4 3 6 1,1 4 3 6 1,1 4 3 6 1,1 4 3 6 1,1 4 3 6 1,1 4 3 6 1,1 4 3 6 1,1 2 2 3 4 4 5 6 7 8 8 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 <td>が社会 9 100 100 100 100 100 100 100</td> <td>会福 分 円 円 円 円 円 で 設置</td> <td>祉の × _ × _ × _ × _ す セ</td> <td> 増進 (全) </td> <td>等の事がが、「「「使して</td> <td>事業 丁善時時時時時令 品用な業を は 間間間間間間間暖使の</td> <td>行うた 則 房 別 計</td> <td>めに 日 (Δ</td> <td>使用 用 の 使</td> <td>する。 </td> <td>のみ</td> <td>料 0</td> <td>円 円 円 円 円 円 円</td>	が社会 9 100 100 100 100 100 100 100	会福 分 円 円 円 円 円 で 設置	祉の × _ × _ × _ × _ す セ	増進 (全)	等の事がが、「「「使して	事業 丁善時時時時時令 品用な業を は 間間間間間間間暖使の	行うた 則 房 別 計	めに 日 (Δ	使用 用 の 使	する。 	のみ	料 0	円 円 円 円 円 円 円